

志小安全・防災だより



バックナンバーは本校 Web ページ (QR コード) でご覧いただけます。

R2. 4.27 No.4

安全・防災担当: 早坂 潤

「自分の命は自分で守る」ことをしっかり考えていきましょう

新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中、4月18日から19日に暴風と大雨、20日には震度4の大きな地震が発生するなど、自然災害への安全対策にも気が抜けないこの頃です。その他に、外出の自粛が呼び掛けられているにもかかわらず、町内には他県ナンバーの車の出入りが多いようです。先日、サンオーレ袖浜の駐車場に行ったところ、関東方面のナンバープレートをつけたワゴン車が入ってきました。しばらくすると男の人が降りてきて、この町で何かいい仕事はないか私に話し掛けてきました。何かいい仕事と言われ私は大変困りましたが、その方は、エアコンの修理を仕事にしている方で、関東の方ではコロナウイルスのため仕事にならなくて宮城県の親戚を頼ってこちらに来られたとのことでした。通常だとGW前に交通事故や不審者等に十分に気を付けることを子供たちに話すのですが、それができないのが現状です。外出の自粛制限はかかっているものの、天気がよければ外に出て遊ぶこともあるでしょう。その際には、いつも学校で話されている「自分の命は自分で守る」ことをしっかり頭に入れて安全な生活に心掛けてほしいです。



4月19日、6時頃の八幡川の様子です。昨年の台風19号では丸印の辺りから増水した水が道路側に流れ込んできました。右側の写真でも分かるように、この日も川岸の土が激流によって削られています。



徒歩通学開始を広めていただきありがとうございます

旭ヶ丘地区の広報「あさひ館」の4月号に、志津川小学校で徒歩通学が開始したことが載せてありました。そこには、ドライバーの方々に子供たちが安全に通学できるように、安全運転への呼び掛けが書かれていました。大変ありがたいことです。徒歩通学は開始しましたが、臨時休業が続いているため歩くことに慣れるまで時間がかかることでしょう。学校再開時には、職員で街頭指導や下校指導を進めながら、子供たちが安心して通学できるようにします。

先週テレビで、志津川湾が紹介されていました

連日のように気持ちが落ち込むような話題のニュースが多い中、志津川湾の素晴らしさが、「三陸海中さんぽ・生きものあふれる志津川湾」で紹介されていました。ガイドを務めたのは、昨年町P連の講演会に来ていただいた水中カメラマンの佐藤長明さんでした。志津川湾には、珍しい生き物がたくさん生息していることを紹介していました。じっくり味わえる日が早くきてほしいです。



佐藤 長明さん